

南越前町総合防災訓練実施

問合せ 総務課 ☎47-8000

10月22日、町内全域で町民約2,000人が参加し総合防災訓練が実施されました。訓練は、町民や防災関係機関などそれぞれの役割を確認し、応急対策に関する検証および確認を行うとともに、防災に対する意識の高揚を図る目的で行われたものです。

午前7時、日本海沖を震源としたマグニチュード7の地震が発生。町内全域において震度6強の揺れを観測、沿岸部に津波警報が発令され、その後、原子力災害が発生したとの想定で行われました。

南越前町地域防災計画に基づき、災害対策本部を設置。川野本部長の指揮により、職員が災害応急対策活動に従事したほか、協力機関と町民が連携してそれぞれの役割を確認しました。

また、二次避難先となる拠点避難所では、原発事故に備えたスクリーニングの作業手順やヨウ素剤の効果など、原子力災害時の対応について職員による説明が行われたほか、消防署員による応急手当の方法などについての講習も行われました。



▲要援護者の搬送



▲災害対策本部の運営



▲防災講習



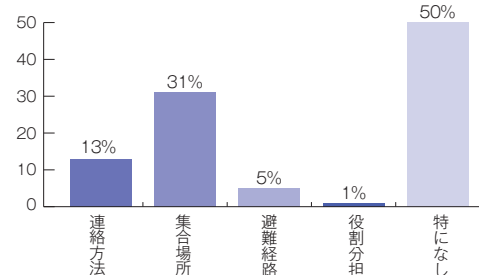
▲原子力災害時の対応説明

訓練に関するアンケート調査結果

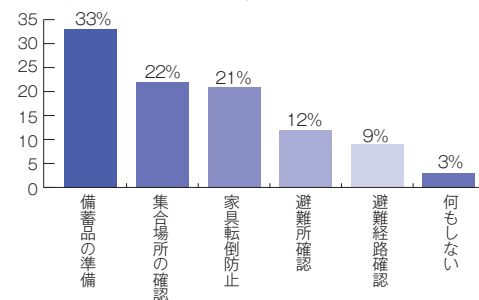
◆回答者

男性 807人
女性 738人

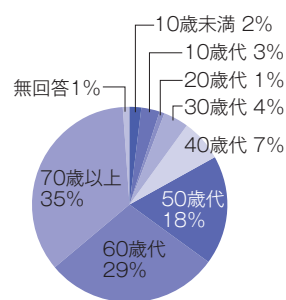
◎家族間で防災に関して取り決めていることはありますか？



◎訓練を終えて、自宅でしてみようと思うことはありますか？



◆年齢別構成割合



災害時の連絡方法、避難場所や避難経路などをあらかじめ家族全員で確認しておくことが大事です。また、備蓄品の準備や非常持ち出し品はリュックなどに入れてすぐに持ち出せる場所に置いておくなどの方が一に備えての準備もしっかりしておきましょう。

町では、アンケート調査の結果等をふまえて、地域防災計画の見直しに反映させていくとともに、訓練を継続して実施していくことで、防災意識の向上と災害に強いまちづくりに努めてまいります。